

教頭通信デジタル

令和6年12月10日（火）第53号

文責：備前市立三石中学校 早川政宏

三石城跡奉仕作業に参加しました!!

毎年12月の第2日曜日は三石城跡保存会・三石公民館主催の三石城跡奉仕作業が行われています。今年は12月8日（日）に開催され、三石中学校からもボランティアの生徒及びPTAが活動に参加しました（生徒5名とPTAから9名、合計14名の参加でした）。

三石城は1333年（元弘3年）、地頭の伊東大和二郎の築城によるものです。親交のあった播磨赤松氏の重臣・浦上宗隆が一時期城主となり、その後、赤松氏の実権を奪った浦上村宗が戦国大名として全盛期を迎えます。しかし、浦上氏も1531年（享禄4年）、摂津天王寺の戦いで死没したため、しばらく後に、三石城は廃城となります。

城跡の本丸跡には土塁・石塁も残っており、二の丸・三の丸をはじめ、大手門・矢倉台石積み・溜池・井戸などの遺構も現存しています。三石城は領主の居住地であるとともに、南北朝時代・室町時代の幾つもの勢力争いをかいくぐってきた歴史ある山城だったのです。

【参考：三石城跡に設置してある案内看板より】

天候にも恵まれ、参加者は集合場所の三石運動公園から徒歩で天王山（三石の町を南に見下ろす標高290メートル）に移動しました。麓にある登城口から、学校から持参した熊手を持って頂上の三石城跡をめざしました。

頂上の三石城跡は、積もり積もった樹木の落ち葉で覆われており、参加者が手作業で落ち葉の掃除を行いました。下の、ビフォー&アフターの写真をご覧ください。



ビフォー写真



アフター写真

地域の文化財を地域の方々と一緒に掃除することは、非常に価値があり素晴らしいことだと思います。日曜日に関わらず、ボランティアとして、今回の奉仕作業に参加していただいた14名の参加者のみなさん、本当にありがとうございました。